



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月25日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200
 定時株主総会開催予定日 2020年6月29日 配当支払開始予定日 2020年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,813	3.7	815	5.5	823	5.0	528	3.2
2019年3月期	10,423	8.3	773	15.4	784	17.5	512	14.5

(注) 包括利益 2020年3月期 543百万円(9.9%) 2019年3月期 494百万円(10.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	357.49	—	10.8	10.2	7.5
2019年3月期	346.42	—	11.3	10.5	7.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,679	5,109	58.9	3,453.34
2019年3月期	7,478	4,729	63.2	3,196.02

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,109百万円 2019年3月期 4,729百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	781	△119	△303	1,901
2019年3月期	1,006	△142	△275	1,542

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00	162	31.8	3.6
2020年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00	177	33.6	3.6
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの事業活動への影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。業績予想につきましては、今後開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期	1,480,000株	2019年3月期	1,480,000株
2020年3月期	365株	2019年3月期	287株
2020年3月期	1,479,700株	2019年3月期	1,479,713株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益及び雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外では米中の貿易摩擦や中国経済の減速などに加えて、2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による景気の減速懸念の高まりなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業収益が改善するなか、企業における効率化や生産性向上を目的とした投資意欲の高まり等により、ソフトウェア投資は堅調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは20中期経営計画(2018年度～2020年度)の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発及びシステム運用・管理等のセグメントで増収となったため、10,813百万円(前期比3.7%増)となりました。利益につきましては、売上高増加により営業利益は815百万円(同5.5%増)、経常利益は823百万円(同5.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は528百万円(同3.2%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりとなります。

①機器等販売

Windows10への更新需要も加わり機器販売が増加したことで、売上高は2,550百万円(前期比26.3%増)となりました。セグメント利益は売上高の増加や原価低減により、185百万円(同54.7%増)となりました。

②ソフトウェア開発

開発案件の増加により、売上高は2,282百万円(前期比17.6%増)となりました。セグメント利益は不採算案件等の発生により売上原価が増加したため、376百万円(同14.4%減)となりました。

③システム販売

生コン関連機器は増加しましたが、画像処理システムの減少およびインフラサービスでは前期の特需による反動で減収となり、売上高は2,779百万円(前期比16.0%減)となりました。セグメント利益は売上高の減少により、264百万円(同35.5%減)となりました。

④システム運用・管理等

システム運用支援業務等の増加により、売上高は3,200百万円(前期比1.5%増)となりました。セグメント利益は売上高増加及びデータセンター業務や保守業務等の効率化により、1,012百万円(同2.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.4%増加し、5,683百万円となりました。これは、主に現金及び預金が359百万円、受取手形及び売掛金が356百万円増加したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて17.4%増加し、2,995百万円となりました。これは、主に建物及び構築物が170百万円、リース資産(有形)が131百万円、リース資産(無形)が101百万円増加したことによりです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて16.0%増加し、8,679百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.9%増加し、2,936百万円となりました。これは、主に買掛金が301百万円増加したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて66.7%増加し、632百万円となりました。これは、主にリース債務が182百万円増加したことによりです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて29.8%増加し、3,569百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.0%増加し、5,109百万円となりました。これは、主に利益剰余金が366百万円増加したことによりです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下資金という）は、前連結会計年度に比べ359百万円増加し、当連結会計年度末には1,901百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金の増加は、781百万円（前連結会計年度は1,006百万円の資金増加）となりました。これは、主に支出で売上債権の増加356百万円、法人税等の支払額318百万円があったものの、収入で税金等調整前当期純利益804百万円、減価償却費392百万円、仕入債務の増加216百万円があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、119百万円（前連結会計年度は142百万円の資金減少）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出70百万円、有形固定資産の取得による支出48百万円があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、303百万円（前連結会計年度は275百万円の資金減少）となりました。これは、主に配当金の支払額162百万円、リース債務の返済による支出140百万円があったことによります。

(4) 今後の見通し

次期（2021年3月期）の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの事業活動への影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。業績予想につきましては、今後開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用につきましては、わが国における適用状況等を勘案し、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542,665	1,901,805
受取手形及び売掛金	2,400,244	2,756,343
リース投資資産	381,069	449,507
商品及び製品	66,126	66,452
仕掛品	408,248	356,809
原材料及び貯蔵品	31,977	39,951
その他	99,733	115,448
貸倒引当金	△2,904	△2,643
流動資産合計	4,927,160	5,683,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,341,593	1,552,662
減価償却累計額	△735,452	△775,850
建物及び構築物（純額）	606,141	776,812
工具、器具及び備品	541,576	582,051
減価償却累計額	△431,976	△467,476
工具、器具及び備品（純額）	109,600	114,575
土地	531,977	531,977
リース資産	489,483	721,784
減価償却累計額	△287,934	△389,023
リース資産（純額）	201,548	332,761
その他	284,847	363,402
減価償却累計額	△168,265	△206,602
その他（純額）	116,582	156,800
有形固定資産合計	1,565,851	1,912,927
無形固定資産		
ソフトウェア	193,845	153,285
リース資産	82,848	184,572
その他	56,362	94,494
無形固定資産合計	333,055	432,353
投資その他の資産		
投資有価証券	234,240	224,438
退職給付に係る資産	239,402	235,605
繰延税金資産	132,213	141,059
その他	52,420	56,972
貸倒引当金	△5,473	△7,926
投資その他の資産合計	652,803	650,148
固定資産合計	2,551,710	2,995,429
資産合計	7,478,870	8,679,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	771,103	1,072,370
リース債務	106,819	157,063
未払費用	312,920	322,022
未払法人税等	192,388	161,864
賞与引当金	386,588	441,683
受注損失引当金	-	360
アフターコスト引当金	37,865	35,846
その他	562,455	745,437
流動負債合計	2,370,142	2,936,648
固定負債		
リース債務	178,915	361,674
退職給付に係る負債	14,361	20,490
その他	186,260	250,608
固定負債合計	379,538	632,772
負債合計	2,749,680	3,569,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	3,647,125	4,013,335
自己株式	△462	△737
株主資本合計	4,664,484	5,030,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,954	104,888
退職給付に係る調整累計額	△33,248	△25,625
その他の包括利益累計額合計	64,706	79,263
純資産合計	4,729,190	5,109,683
負債純資産合計	7,478,870	8,679,104

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	10,423,221	10,813,200
売上原価	7,895,879	8,213,983
売上総利益	2,527,341	2,599,217
販売費及び一般管理費	1,754,172	1,783,528
営業利益	773,169	815,689
営業外収益		
受取利息	18	23
受取配当金	4,544	4,591
受取手数料	2,617	1,875
受取保険料	3,831	3,600
補助金収入	3,734	3,092
その他	2,624	2,567
営業外収益合計	17,370	15,750
営業外費用		
支払利息	1,830	2,410
売上割引	2,398	3,680
支払手数料	1,199	945
その他	318	455
営業外費用合計	5,748	7,491
経常利益	784,790	823,948
特別利益		
投資有価証券売却益	-	432
特別利益合計	-	432
特別損失		
固定資産除却損	1,663	370
投資有価証券評価損	-	19,715
支払負担金	24,898	-
特別損失合計	26,561	20,086
税金等調整前当期純利益	758,229	804,294
法人税、住民税及び事業税	289,983	290,719
法人税等調整額	△44,350	△15,403
法人税等合計	245,633	275,315
当期純利益	512,595	528,978
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	512,595	528,978

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	512,595	528,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,768	6,934
退職給付に係る調整額	28,734	7,623
その他の包括利益合計	△18,034	14,557
包括利益	494,561	543,536
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	494,561	543,536
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	777,875	239,946	3,282,500	△462	4,299,859	144,723	△61,982	82,741	4,382,600
当期変動額									
剰余金の配当			△147,971		△147,971			—	△147,971
親会社株主に帰属する 当期純利益			512,595		512,595			—	512,595
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						△46,768	28,734	△18,034	△18,034
当期変動額合計	—	—	364,624	—	364,624	△46,768	28,734	△18,034	346,589
当期末残高	777,875	239,946	3,647,125	△462	4,664,484	97,954	△33,248	64,706	4,729,190

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	777,875	239,946	3,647,125	△462	4,664,484	97,954	△33,248	64,706	4,729,190
当期変動額									
剰余金の配当			△162,768		△162,768			—	△162,768
親会社株主に帰属する 当期純利益			528,978		528,978			—	528,978
自己株式の取得				△275	△275				△275
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						6,934	7,623	14,557	14,557
当期変動額合計	—	—	366,210	△275	365,935	6,934	7,623	14,557	380,492
当期末残高	777,875	239,946	4,013,335	△737	5,030,419	104,888	△25,625	79,263	5,109,683

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	758,229	804,294
減価償却費	374,058	392,117
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,626	55,095
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,210	360
アフターコスト引当金の増減額 (△は減少)	△7,852	△2,019
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,444	6,128
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	3,801	14,758
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30,540	2,192
受取利息及び受取配当金	△4,563	△4,614
支払利息	1,830	2,410
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△432
固定資産除却損	1,663	370
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	19,715
売上債権の増減額 (△は増加)	312,272	△356,099
たな卸資産の増減額 (△は増加)	46,837	43,139
リース投資資産の増減額 (△は増加)	20,772	△68,437
その他の資産の増減額 (△は増加)	39,920	△19,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	△244,277	216,627
未払消費税等の増減額 (△は減少)	32,477	△24,951
その他の負債の増減額 (△は減少)	△129,096	16,969
小計	1,232,392	1,098,202
利息及び配当金の受取額	4,563	4,614
利息の支払額	△1,830	△2,410
法人税等の支払額	△228,329	△318,595
法人税等の還付額	-	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,006,795	781,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△92,656	△48,204
無形固定資産の取得による支出	△48,236	△70,854
投資有価証券の売却による収入	-	672
敷金及び保証金の差入による支出	△2,280	△874
敷金及び保証金の回収による収入	996	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,176	△119,232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△127,082	△140,402
自己株式の取得による支出	-	△275
配当金の支払額	△147,971	△162,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,054	△303,446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	589,564	359,140
現金及び現金同等物の期首残高	953,100	1,542,665
現金及び現金同等物の期末残高	1,542,665	1,901,805

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、情報サービス事業を主な事業としており、その事業内容及び製品・サービス等に基づいて事業を集約した結果、「機器等販売」、「ソフトウェア開発」、「システム販売」及び「システム運用・管理等」の4つを報告セグメントとしております。

「機器等販売」はハードウェア及びソフトウェア等の仕入・販売、「ソフトウェア開発」はアプリケーションシステムの受託開発業務及びERPビジネス、「システム販売」は自社開発システムの販売及びネットワーク構築等のインフラサービス、「システム運用・管理等」はユーザシステムの運用・管理サービス及びデータセンタ業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価額に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウ ェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,019,291	1,941,363	3,308,275	3,154,290	10,423,221	—	10,423,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	36,210	299	52,335	88,857	△88,857	—
計	2,019,303	1,977,574	3,308,574	3,206,626	10,512,079	△88,857	10,423,221
セグメント利益	119,747	439,537	409,593	985,216	1,954,095	△1,180,925	773,169
その他の項目							
減価償却費	71,609	29,978	74,172	169,391	345,151	28,906	374,058

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,180,925千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分しておらず、事業セグメントの減価償却費は一定の基準により配分しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウ ェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,550,826	2,282,593	2,779,500	3,200,280	10,813,200	—	10,813,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,827	1,208	12,561	52,788	69,385	△69,385	—
計	2,553,654	2,283,801	2,792,061	3,253,068	10,882,586	△69,385	10,813,200
セグメント利益	185,208	376,366	264,078	1,012,388	1,838,041	△1,022,351	815,689
その他の項目							
減価償却費	117,875	27,665	69,730	148,285	363,556	28,560	392,117

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,022,351千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分しておらず、事業セグメントの減価償却費は一定の基準により配分しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
太平洋セメント株式会社	2,530,158	機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
太平洋セメント株式会社	3,241,223	機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,196.02円	3,453.34円
1株当たり当期純利益金額	346.42円	357.49円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	512,595	528,978
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	512,595	528,978
普通株式の期中平均株式数(株)	1,479,713	1,479,700

(重要な後発事象)

該当事項はありません。